

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5115316号

(P5115316)

(45) 発行日 平成25年1月9日(2013.1.9)

(24) 登録日 平成24年10月26日(2012.10.26)

(51) Int.Cl.

F 1

B 4 2 D 15/02 (2006.01)

B 4 2 D 15/02 5 O 1 B

B 4 2 D 15/02 5 O 1 K

請求項の数 3 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2008-124125 (P2008-124125)	(73) 特許権者	000002897
(22) 出願日	平成20年5月12日 (2008.5.12)		大日本印刷株式会社
(65) 公開番号	特開2009-269364 (P2009-269364A)		東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
(43) 公開日	平成21年11月19日 (2009.11.19)	(74) 代理人	100111659
審査請求日	平成23年3月10日 (2011.3.10)		弁理士 金山 聡
		(74) 代理人	100135954
			弁理士 深町 圭子
		(74) 代理人	100119057
			弁理士 伊藤 英生
		(74) 代理人	100122529
			弁理士 藤枿 裕実
		(74) 代理人	100131369
			弁理士 後藤 直樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 隠蔽用ラベル付き葉書セット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

葉書の記入情報を覆い隠すための隠蔽用ラベルが、予め葉書用紙に添付されている隠蔽用ラベル付き葉書セットであって、

切り取り用ミシンで区画され、個人情報記入欄が表示された葉書部を有する矩形状の葉書用紙と、

前記葉書用紙上に重ね合わされ、該葉書用紙の長辺に沿った一側端部付近で接着され、前記葉書部の個人情報記入欄を覆い隠すことが可能な面積を有する隠蔽用ラベルが剥離可能に貼付されている隠蔽用ラベル貼付用紙と、

前記葉書用紙上及び前記隠蔽用ラベル貼付用紙上に、前記葉書用紙と略同一サイズからなるクーポン用紙が重ね合わされ、

前記葉書用紙と前記隠蔽用ラベル貼付用紙とが接着されていない他端側で、前記葉書用紙と前記クーポン用紙が接着されている、

ことを特徴とする隠蔽用ラベル付き葉書セット。

【請求項 2】

前記隠蔽用ラベル貼付用紙は、前記葉書用紙の長辺方向に対する幅寸法が、前記葉書用紙の幅寸法よりも短い寸法で形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の隠蔽用ラベル付き葉書セット。

【請求項 3】

前記隠蔽用ラベル貼付用紙が、裏面側に、貼付後に剥離可能な粘着剤が塗布された粘着剤

10

20

層を有するラベル用紙と、その粘着剤層の下側に貼付されている剥離紙とから構成されていることを特徴とする請求項1記載の隠蔽用ラベル付き葉書セット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、葉書に記入された個人情報に覆い隠すための隠蔽用ラベルを備えた隠蔽用ラベル付き葉書セットに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、各種の案内として、郵便物の送り主から案内書を郵送する場合に、案内書などと共に返信用の葉書を封筒に入れて郵送することが行なわれている。

10

また、これらの封入する返信用の葉書については、個人情報保護として、郵送中において第三者に個人情報が漏洩されることを防ぐためにも、葉書に記載した個人情報の領域に、隠蔽用ラベルを剥離可能に貼り付けて外部から目視できない状態にして郵送することが行なわれている。

これらの隠蔽用ラベルについては、既に公知となっているものがある。（例えば、特許文献1～3参照）

【0003】

【特許文献1】特開平10-166765号公報

【特許文献2】特開平11-129654号公報

20

【特許文献3】特開平11-334256号公報

【0004】

しかしながら、封入封緘機を利用して大量の返信葉書と隠蔽用ラベルとを一緒に封入する処理を行なう場合には、返信葉書と隠蔽用ラベルとを一体化させた状態として一回の処理で封入封緘処理をすることが効率的であるが、従来の返信葉書や隠蔽用ラベルでは一回の処理で封入封緘処理ができないという問題がある。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

そこで、本発明は、封入封緘機を利用して大量の返信葉書と隠蔽用ラベルとを封入封緘処理できるように、返信葉書と隠蔽用ラベルとを一体化させた形態とすることで、返信葉書と隠蔽用ラベルとを無理なく封入封緘することができる隠蔽用ラベル付き葉書セットを提供する。

30

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の隠蔽用ラベル付き葉書セットは、葉書の記入情報を覆い隠すための隠蔽用ラベルが、予め葉書用紙に添付されている隠蔽用ラベル付き葉書セットであって、切り取り用ミシンで区画され、個人情報記入欄が表示された葉書部を有する矩形状の葉書用紙と、前記葉書用紙上に重ね合わされ、該葉書用紙の長辺に沿った一側端部付近で接着され、前記葉書部の個人情報記入欄を覆い隠すことが可能な面積を有する隠蔽用ラベルが剥離可能に貼付されている隠蔽用ラベル貼付用紙と、前記葉書用紙上及び前記隠蔽用ラベル貼付用紙上に、前記葉書用紙と略同一サイズからなるクーポン用紙が重ね合わされ、前記葉書用紙と前記隠蔽用ラベル貼付用紙とが接着されていない他端側で、前記葉書用紙と前記クーポン用紙が接着されている、ことを特徴とする。

40

【0007】

また、本発明の隠蔽用ラベル付き葉書セットは、前記隠蔽用ラベル貼付用紙は、前記葉書用紙の長辺方向に対する幅寸法が、前記葉書用紙の幅寸法よりも短い寸法で形成されていることを特徴とする。

【0009】

また、本発明の隠蔽用ラベル付き葉書セットは、前記隠蔽用ラベル貼付用紙が、裏面側

50

に、貼付後に剥離可能な粘着剤が塗布された粘着剤層を有するラベル用紙と、その粘着剤層の下側に貼付されている剥離紙とから構成されていることを特徴とする。

【発明の効果】

【0011】

本発明の隠蔽用ラベル付き葉書セットは、葉書用紙上及び隠蔽用ラベル貼付用紙上にクーポン用紙が重ね合わされ、葉書用紙とクーポン用紙が接着されているので、葉書用紙と隠蔽用ラベル貼付用紙とクーポン用紙とを一体化させた状態で、葉書用紙の長辺側から封筒に対してクーポン用紙と共に無理なく封入封緘処理を行うことができるという効果がある。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

以下、本発明の実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットを、図面に基づいて詳細に説明する。

図1は、実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットの斜視図、図2は、図1のA-A線断面図が示されているが、実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セット1は、図1に示すように、上側から順番に、表紙2と、クーポン用紙3と、葉書用紙4と、が下側に重ねられ、それらが一側端部付近で接着剤8a、8bにより接着され一体化されている。

20

【0013】

更に、接着剤8bで接着されている一側端部とは反対側の端部付近の葉書用紙4上には、葉書用紙4の用紙サイズよりも小さなサイズを有する隠蔽用ラベル貼付用紙5が重ねられている。

そして、葉書用紙4とクーポン用紙3とが接着されている一側端部と対向する反対側の一側端部付近で、葉書用紙4と隠蔽用ラベル貼付用紙5とが接着剤9により接着されている。

これらの表紙2と、クーポン用紙3と、葉書用紙4と、隠蔽用ラベル貼付用紙5とは、いずれも矩形状に形成されており、接着剤8a、8b、9により接着されている上記の一側端部は、いずれも重ねられている用紙の長辺に沿った一側端部付近で接着されている。

30

【0014】

図2の断面図に示すように、隠蔽用ラベル貼付用紙5は、裏面側に、貼付後に剥離可能な粘着剤が塗布された粘着剤層5aを有するラベル用紙5bと、その粘着剤層5aの下側に貼付されている剥離紙5cとから構成されている。

ラベル用紙5bの裏面に設けられている粘着剤層5aに使用されている貼付後に剥離可能な粘着剤は、従来から公知の再剥離可能な接着剤を用いる。

これは、ラベル用紙5bを葉書用紙4の葉書部4aに貼付させた後に、その葉書の受取人が、ラベル用紙5bを剥離させて、葉書の記入内容を見ることができるようになるためである。

40

ラベル用紙5bには、ラベル用紙5bの内側の所定の領域部分だけを剥離することができるよう、スリット枠6が形成されている。

【0015】

スリット枠6で剥離可能となる領域部分が、隠蔽用ラベル10となり、その隠蔽用ラベル10は、少なくとも葉書用紙4の葉書部に設けられた個人情報記入欄11の領域を覆い隠すことが可能なサイズで設けられている。

したがって、葉書用紙4の葉書部に設けられた個人情報記入欄11の領域面積が、より大きな面積である場合には、スリット枠6内のラベル用紙5bの面積も、個人情報記入欄11の領域面積以上に大きなサイズで形成される。

【0016】

50

図 3 には、実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットを分解させた状態を示す斜視図が示されているが、図 3 にも示すように、葉書用紙 4 には、接着剤 8 a, 8 b, 9 が塗布されている葉書用紙 4 の両側部分を切り取るために形成された切り取りミシン 1 2 a, 1 2 b と、葉書部 4 a と、その他の用途に使用する部分 4 b と、を切り分けるために形成された切り取りミシン 1 5 とが設けられている。

したがって、葉書用紙 4 を切り取りミシン 1 2 a, 1 2 b, 1 5 の三方から切り取ることで、葉書部 4 a を葉書として使用できるように構成されている。

【0017】

また、葉書用紙 3 上及び隠蔽用ラベル貼付用紙 5 上に重ねられているクーポン用紙 3 は、葉書用紙 4 と略同一サイズからなり、クーポン用紙 3 に形成された切り取りミシン 1 6 a, 1 6 b により、クーポン用紙 3 に設けられたクーポン券部 3 a と、クーポン控え部 3 b とを切り取れるようになっており、切り取ったクーポン券部 3 a をクーポン券として利用できるようになっている。

10

【0018】

また、隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 の最上位にある表紙 2 は、その隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 の用途に応じた種々の表示内容を印刷するなどしてあり、その表裏面に隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 の使用方法や注意書きなどが表示してある。

また、実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 では、上位に隠蔽用ラベル貼付用紙 5 が重ねられ接着された葉書用紙 4 に対して、それらの上側にクーポン用紙 3 と、表紙 2 とを重ねて接着させた状態に関する実施形態が示されているが、本発明では、使用目的に応じて、更に他の用紙などを重ね合わせた構成としてもよく、必ずしもこの実施形態だけに限定されるものではない。

20

【0019】

次に、実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 の使用方法について、図 4 及び図 5 に基づいて説明する。

例えば、隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 は、封筒などに封入して郵送したり、また、手渡しなどにより顧客に渡す。

そして、隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 を受け取った顧客が、葉書用紙 4 をする場合は、葉書用紙 4 を切り取りミシン 1 2 a, 1 2 b, 1 5 の三方から切り取り、葉書部 4 a を分離した後、葉書部 4 a に宛先を記入したり、個人情報記入欄 1 1 に個人情報を記入したり、その他の伝達事項を記入する。

30

【0020】

次に、隠蔽用ラベル貼付用紙 5 の隠蔽用ラベル 1 0 の部分を剥離させる。

そして、剥離させた隠蔽用ラベル 1 0 を、葉書部 4 a の個人情報記入欄 1 1 上にその個人情報記入欄 1 1 を覆い隠した状態となるようにして貼付した後、郵便ポストに投函するなどして発送する。

隠蔽用ラベル 1 0 の裏面側に設けられている粘着剤層 5 a は、貼付後に剥離可能な粘着剤が塗布された層であるから、その後、葉書部 4 a の受取人は、葉書部 4 a の個人情報記入欄 1 1 上に貼付されている隠蔽用ラベル 1 0 を剥離させることで、個人情報記入欄 1 1 の記入内容を見ることができる。

40

【0021】

上記のように、隠蔽用ラベル付き葉書セット 1 は、予め葉書用紙に隠蔽用ラベル貼付用紙が接着され一体化されているので、葉書用紙の葉書部に第三者に見られては困る内容を記入する場合でも、それらの記入領域を隠蔽用ラベル貼付用紙から剥離させた隠蔽用ラベルを貼り付けて覆い隠して送ることができる。

【0022】

また、隠蔽用ラベル貼付用紙 5 のサイズの横幅寸法を、図 3 に示す状態よりも大きな横幅寸法に形成することで、ラベル用紙 5 b の面積もより広くすることができる。

例えば、個人情報記入欄 1 1 を葉書部 4 a の裏面側に設け、個人情報記入欄 1 1 の大きさも葉書面積に近い大きさとして設けた場合には、隠蔽用ラベル貼付用紙 5 のサイズの横

50

幅寸法も、葉書用紙 4 の横幅寸法に近い寸法で形成し、スリット枠 6 内の面積も広くなるように形成することで、葉書部 4 a の裏面の略全面に近い領域を隠蔽用ラベル 10 で貼付させて、記入された情報を覆い隠すこともできる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図 1】本発明の実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットの斜視図である。

【図 2】図 1 の A－A 線断面図である。

【図 3】本発明の実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットを分解させた状態を示す斜視図である。

【図 4】本発明の実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットの使用方法を説明するための断面図である。 10

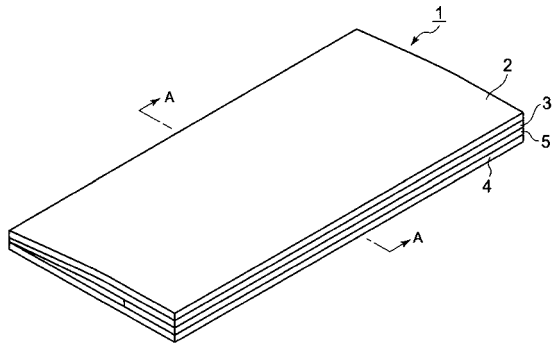
【図 5】本発明の実施形態に係る隠蔽用ラベル付き葉書セットを用いて郵送させた葉書を示す斜視図である。

【符号の説明】

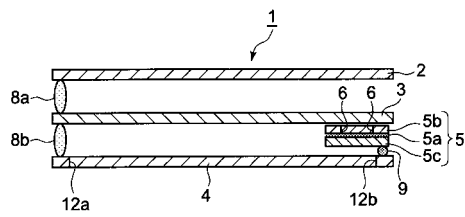
【0024】

- 1 隠蔽用ラベル付き葉書セット
- 2 表紙
- 3 クーポン用紙
- 4 葉書用紙
- 5 隠蔽用ラベル貼付用紙 20
- 5 a 粘着剤層
- 5 b ラベル用紙
- 8 a, 8 b, 9 接着剤
- 10 隠蔽用ラベル
- 11 個人情報記入欄
- 12 a, 12 b, 15 切り取りミシン
- 16 a, 16 b 切り取りミシン

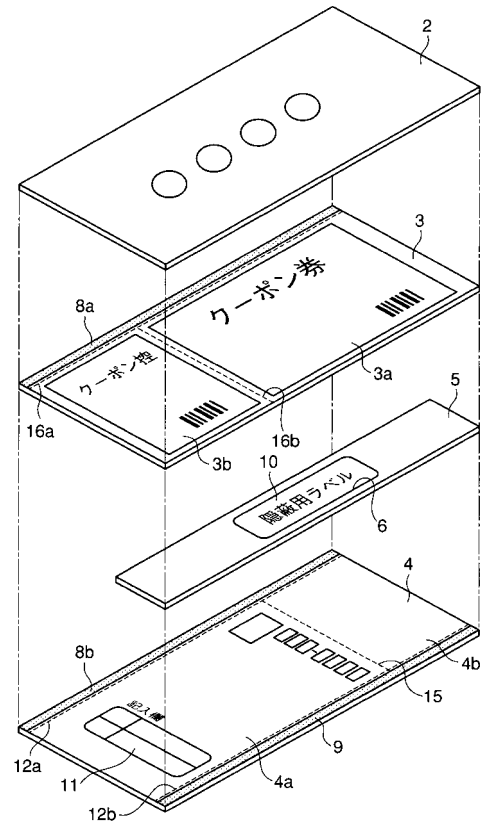
【図 1】



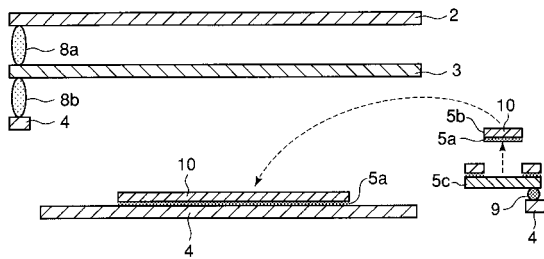
【図 2】



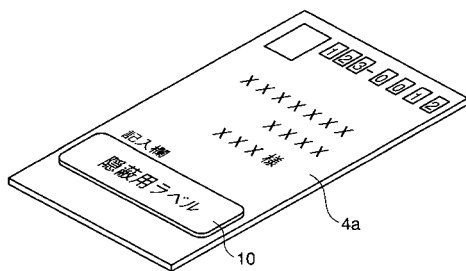
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(72)発明者 日永田 俊和
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

審査官 荒井 隆一

(56)参考文献 特開平8-156464 (JP, A)
実開平6-27182 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B42D 1/00-15/10
G09F 3/00- 3/20